



上の写真は、通所介護の誕生会の様子です。毎月月初めに行われている誕生会。いつもカラオケで盛り上がるそうで、今月はおぼろ月夜と大阪しぐれを歌い、ゲームやおしゃべりなどで楽しんだようです。



3月4日、通所介護の運営推進会議を行いました。2019年度下半期事業報告と、次年度の事業計画について話し合いました。ご参加の皆様より、たくさんのご意見を頂きました。ありがとうございました。



重要なお知らせ

新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、ご家族の面会制限を実施しております。報道によりますと、首都圏から地方の方に感染が拡大しているようなので、現時点では解除の時期の見通しが立ちません。しばらくの間ご協力をお願い致します。ご利用者様の状況などのお問い合わせは、8時30分～17時30分の間をお願いいたします。以上



お願い

古布やタオルなど、不要の布がありましたら（下着やトレーナー等も含む）、お譲りください。使い捨てのウエスに利用させていただきます。各施設の窓口までお持ちいただければ幸いです。

随 ず っ と ら ば し

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。今月は風和の里の高垣寿美代さんです。

皆さんは、「長寿の心得」をご存じでしょうか？先日、ある神社に参拝に出かけたときに見つけた格言です。内容はこうです。

人生は山坂多い旅の道

- 還暦・・・六十才でお迎えの来たときは、只今留守と云へ
 - 古希・・・七十才でお迎えの来たときは、まだまだ早いと云へ
 - 喜寿・・・七十七才でお迎えの来たときは、せくな老楽これからよと云へ
 - 傘寿・・・八十才でお迎えの来た時は、なんのまだまだ役に立つと云へ
 - 米寿・・・八十八才でお迎えの来たときは、もう少しお米を食べてからと云へ
 - 卒寿・・・九十才でお迎えの来たときは、そう急がずともよいと云へ
 - 白寿・・・九十九才でお迎えの来たときは、頃を見てこちらからボツボツ行くと云へ
- 気は永く 心はまるく 腹立てず 口を慎めば命ながらえる

素晴らしい言葉だと感じたので、早速、今年85才になる私の父の部屋に「長寿の心得」を紙に書いて貼り、毎日音読してもらいました。お陰様で今日に至るまで、父は呆けることもなく元気に過ごしています。皆さんの中には、ご家族に高齢者の方がおられる方もいると思いますので参考にしてみてくださいはどうか？

また、私達もやがて来る老いに向けて「長寿の心得」を目標に元気で長生きできるよう頑張りましょう。



せいひ会だより

2020年（令和2年）
4月1日発行
＜第240号＞
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



3月3日、ひな祭り。各地で開催される予定であったお祭りは、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で中止になっているところが多いようです。せいひ会でも、ご家族の面会や外出の制限にご協力いただいております。おかげ様で、平穏な日が続いております。まだまだ気は抜けません。3月の桃の節句、それぞれ工夫をこらし、皆でひな祭りをお祝いしました。元亀の里では手作りのひな壇を作成。紙粘土で人形の形を作り、着物を着せて、お顔に筆入れ。細かい作業も多かったようですが、利用者の皆様は楽しそうに作業をされておりました。職員も参加して共同制作。立派な雛飾りが出来上がりました。

3月の行事

- 3日 ひな祭り (各事業所)
- 4日 ひな祭り (GH)
- 4日 運営推進会議 (通介)
- 9・10日 誕生会 (通介)
- 24日～ 桜鑑賞 中止 (寿限無)

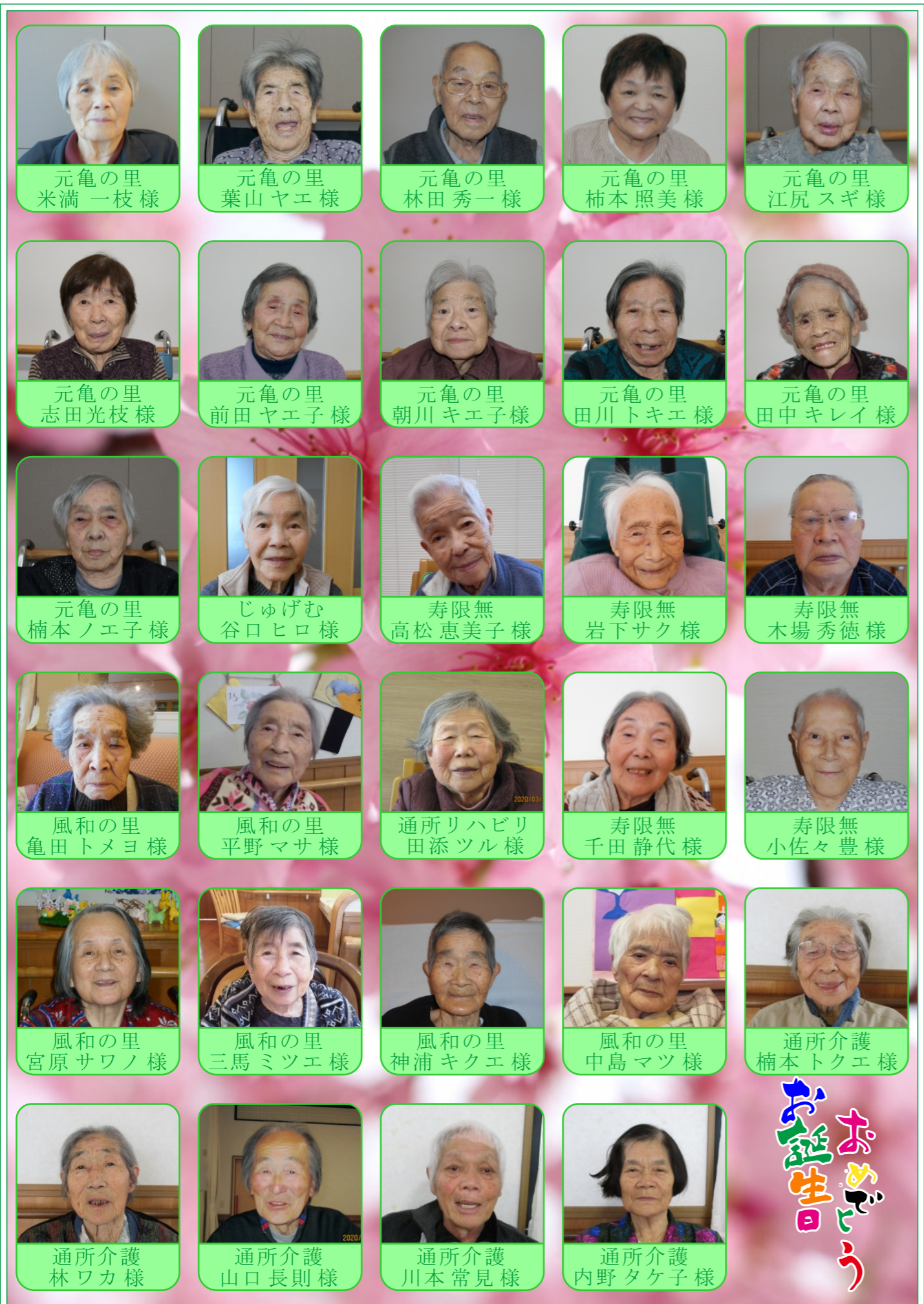
会議や行事は、感染予防の為、延期や中止になる場合があります。

4月の行事予定

- 6日 誕生会 (通介)

うがい手洗い忘れずに！世界では使い捨て手袋をはめて外出する人も続出。学校では卒業式はすでに、新学期にも影響が出ているようです。早い終息することを願います...





お誕生日

バースデーインタビュー



風和の里
小濱 恵美子様

昭和2年3月30日生まれ、93歳。西海市大瀬戸町で5人兄弟の3女として生まれました。崎戸に住む叔父の養女として育てられ、崎戸の蠣浦小学校を卒業。その後地元を離れ大村の高等女学校に。寄宿舎での生活はとても楽しく、「いっぱい遊んだ」と話されていました。代用教員として崎戸へ戻り3年間務めた後、21歳で結婚。4人の子宝に恵まれ、44歳くらいから第一生命に勤務され「定年まで21年間働いたとよ。」と自慢げに話されました。趣味は映画と旅行で、特に韓国映画の大ファン。「イ・ビョンホンが好き」と居室の壁にも大きなカレンダーを貼っておられるほどです。韓国に行った時は、映画の撮影に使われた観光名所めぐりをしていたとの事。いつも明るい笑顔を見せてくれる小濱さん。インタビューの間は昔を思い出された様子で一層笑顔が輝いて見えました。

職員紹介



荒木 英樹

長崎市の曙町で生まれ育ち、23歳の時から琴海で生活しています。介護職に就いたのが43歳。今から約10年前、寿限無の開設時から勤務しています。まさに光陰矢の如し。なんら取り得のない自分ではありますが、皆様と共に成長していけるように頑張っていきたいと思っています。









松江恵美子様
野中美伯様

富安良雄様

沼田輝子様



秋浦克敏様








大坪公子様

荒瀬美智子様

通所介護共同作品

松添弘様

間敏夫様

今月の作品紹介です。

L I F E

IS A WORK OF

A R T